

EPAハノイ便り

10月号

平成30年10月20日

ARCベトナム校発行

作文紹介

EPAベトナム、ハノイ校では10月に入り、いよいよ研修の総仕上げの時期となりました。今月は、今まで候補者が授業で書いた作文をいくつか掲載し、候補者の様子や成長ぶりを紹介します。

★「私の体験」(6月の作文)★

12組 ファム・バン・ブー

私は6年ぐらい前の9月2日の夜にはじめてビールに酔った。

私は子供のとき、祖父母と住んでいた。両親は私が6さいのときから、遠い所で働いていた。両親は1年に1回しか帰らなかった。子供のとき、私はいつもあまりあそばないで、いっしょうけんめい勉強していた。まじめな学生だった。ある日、私ははじめてビールを飲んで、酔った。長い時間待っていた親友に会ったからだ。とてもうれしかったので、親友とすこしビールを飲んだ。はじめてビールを飲んだので、酔ってしまった。そのあと友達が私を家へ

ブーさんのご家族。右からブーさん、お父さんと妹さん、お母さん、弟さん



つれて帰ってくれた。家で祖父母がスープを作ってくれた。私はスープを飲んで、寝た。つぎの日の朝起きて、ビールを飲みすぎたので、とてもつかれた。祖父母は私の調子を見て、しんぱいだったので、私の両親にれんらくした。そのあと父から電話が来た。私は電話を聞く前に、父にしかられると思った。でも、父は私をしからなかつた。父は「お父さんお母さんの人生は苦しかった。あなたはいっしょうけんめい勉強してください」といっていた。私は電話を聞きながら泣いた。その日から私は長い時間すこしもビールを飲まなかつた。

その日から私はもっと両親をおもいだすように

している。何をしても、父の話をおもいだす。今はときどきビールを飲むけど、たくさんは飲まない。その日がなかったら、今、私はまじめじゃない人になっているかもしれない。とてもいい体験だった。

★「好きな作品の紹介」(9月の作文)★

14組 レー・ティ・ティン・ホア

私はこれから「スラムダンク」というまんがを紹介したいと思います。これは日本の井上雅彦が書いた高校バスケットを題材にした少年まんがです。このまんがの内容は団結心についてで、楽しみも悲しみもあります。

主人公は高校からバスケットを始めた初心者、桜木花道です。彼は生まれたときから身体能力を持ち、さらに毎日努力して、だんだん上手になりました。特に、彼は天才のようなリバウンドというバスケットの技を持っています。彼は湘北という高校のチームに入って、バスケットを練習します。チームのメンバーの性格が違っているので、時々けんかをしました。でも、それからみんなが一緒に相談して、仲直りして、みんな仲良くなります。また、チームメイトと一緒にがんばって練習して、大変なことがあっても、あきらめません。彼らの一番大事な目的は、全国で優勝することです。

私はスポーツが好きで、そしてスポーツの中の団



ホアさんとおすすめのまんが「スラムダンク」の絵

結心に強く感動するので、このまんがを紹介しました。介護の仕事にも団結心が大切だと思います。そして、人生で物事を努力することも大切だと思います。このまんがから、友情や生きがいなどいろいろなことがわかるようになりました。特に、大変なことがあっても、あきらめないという意志です。このまんがはまだ終わっていないので、エンディングがよいかどうか、毎年毎月いらいらして待っています。このまんがは若者に大変人気があるので、よかったです。ぜひお読みください。

★「人間関係について」(10月の作文)★

10組 グエン・ゴック・クオン

昔から私たちはまわりの人々と団結しています。しかし最近、人間関係があまりよくなっていません。近所の人を見ても、あいさつしない人もいます。つめたい目で見ます。それはよくないことだと思います。

以前は人のまわりには物がありませんでした。ふだん情報を知りたいとき、まわりの人と話しました。さらに、困っているとき一人でできませんでした。まわりの人が手伝ってあげたはずです。それで、みんなよく話したり、いっしょに働いたりして、人間関係はよくなりました。

でも、今はいろいろなことが変わりました。新しい物がたくさん作られました。スマートフォンとか、電話とか、インターネットとかができました。それで、生活は簡単になりました。それらを使う時間が長くなりました。まわりの人と話す時間があまりなくなりました。インターネットやスマートフォンとかでいろいろな情報を調べます。それで、まわりの人との関係が必要ではなくなりました。機械は生活にやくに立ちますが、機械のせいで、生活がつまらなくなりました。他の人に笑ってもらえなくなりました。いっしょに住んでいる話せない機械のかわりに、言



クオンさん(後列左)とEPAの仲間たち。運動会などを通じて、いい関係を築いてきました。

えたり、話せたりできる人と住むのはもっと面白いと思います。

機械は本当に必要な物ですが、機械がたくさんあっても、人間関係のかわりとしてあなたといっしょに住むことができません。人間にとって心は大切です。心でいっしょに住んだほうがいいと思います。

10カ月間、毎日学習を積み重ね、候補者は自分の体験や考え、意見を日本語で表現することができるようになってきました。候補者の伝えたいことが皆さんに伝われば幸いです。

今回はハノイ便りの最終回です。